



特集

スポーツ
推進委員会

くわなのウェルビーイング「スポーツ」

「Enjoy!スポーツ」の 舞台裏

「する」も「見る」も楽しいスポーツは、その舞台の裏側で支える人たちがいます。
今回はそんな人たちにスポットを当て、私たちがスポーツを楽しむために
どんなことをしてくれているのか、探ってみました。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)

ヴィアティン
三重



広報 くわな
KUWANA

目次 contents

- 02 伸びゆくまち・桑名
第37弾 駅西口がもっと便利に！桑名駅西ロータリー・西桑名西方線が6月21日に開通
- 04 キラリ★くわな人 ワールドレポート
- 05 特集 くわなのウェルビーイング「スポーツ」
「Enjoy!スポーツ」の舞台裏
- 08 戸籍に氏名の振り仮名が記載されます
- 10 第67回水道週間
令和7年度桑名水郷花火大会
- 12 小中学校再編計画(原案)説明会開催のお知らせ
こころとカラダを大切に 女性が自分らしく輝くまち
三重県伝統工芸士
- 14 子育て広場、図書館・六華苑・博物館
- 16 メディカルニュース、くわな防災教室

- 17 人気の給食レシピ、みんなの掲示板
- 18 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 20 春の叙勲、危険業務従事者叙勲
- 21 くわなINFO
- 30 無料相談
- 31 Sparkling Kuwana People World Report
市長まちなか探索
- 32 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

6月21日(土)に開通する桑名駅西ロータリーの
写真です。同日には駅西口へのアクセス道路
である西桑名西方線が開通し、翌22日(日)には
駅西口への路線バスの乗り入れが始まります。



くわな人
★



葉デザイン工房
フリーデザイナー
イエチャオチュン
葉 昭 均 さん

市内在住で台湾出身のデザイナー・葉さんが制作した短編アニメーション「Dancing in the rain」が北米最大の子ども向け映画祭のニューヨーク国際子ども映画祭で最優秀作品にノミネートされました。

葉さんは、台湾で育ち、日本人のご主人と台湾で出会い結婚し、ご主人の仕事の関係で日本に移住されました。その後フリーデザイナーとして日本で活動されています。現在は、市内に「葉デザイン工房」を設立され、二人のお子さんがいます。

「幼少期から絵本の絵が好きで、特にいっしょに遊ぶおさんの14ひきのねずみシリーズが好きで、よく絵だけを見ていました」とのこと。

と。その後は「美術の授業がずっと好きで、先生に褒められることがよくあり、高校のサークルで絵を描き始めたこと」が現在の仕事のきっかけだそうです。

今回ノミネートされた作品は「ストーリーを考える際に、夫のアイデアも借りながらなんとか完成させました」「映画が完成した時の充実感、達成感は何事にも代え難いものがあります」と話す葉さん。これまでも日本だけでなく海外での受賞歴があります。

葉さんは「自分のスタイルでアニメーション、イラストレーションを制作して、子どもから大人まで心を温かくするよう、なデザインを心がけていきます」と笑顔で話してくれました。



葉さんの制作されたイラスト(一部)

ワールドレポート

世界をまたにかけて活躍している桑名市出身者や桑名市で活躍されている外国人の人にお話を伺いました。





地域を盛り上げ、
地域から愛されるクラブを
めざしています！



活動内容

桑名水郷花火大会 前座イベント



花火大会河川敷エリアに設けたトラックステージに、各競技のトップアスリートが集結。競技を超えたクロストークショーや、選手同士の対決企画を行いました。

キッズキャラバン



依頼を受けた幼稚園や保育園、学校を訪れ、サッカー教室やキャリア教育を行います。普段からサッカーをしている子もしていない子も、目を輝かせてボールを追いかけるそうです。

いじめ防止サポーター



三重県教育委員会から任命されています。桑名駅で啓発活動を行ったり、いじめ啓発試合を開催したりしています。

ヴィアティン三重のホームゲームは「お祭り」！サッカーの試合だけでなく、三世代が集って楽しめるイベントにグルメが盛りだくさんです。

6月のホームゲーム情報

- 第12節 6/15(日)13:00
@LA・PITA 東員スタジアム
vs 横河武蔵野FC
- 第14節 6/28(土)18:00
@LA・PITA 東員スタジアム
vs ラインメール青森



キャプテン
谷奥選手

教えてくれたのは

ヴィアティン三重
代表取締役社長 後藤 大介さん



桑名をホームタウンとする ヴィアティン三重

桑名市をホームタウンとするヴィアティン三重のサッカーチームは、三重県初のJリーグクラブをめざして活動中。ホームゲームの平均入場者数は初めて2千人を超えて盛り上がりを見せていますが、総合型地域スポーツクラブとして地域活動にも力を入れています。その理由は、現代の地域社会が抱えている「コミュニケーション不足」という課題を解決するため、地域の誰もが継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりをめざすことで、人と人、人と地域を結び付けたと考えているから。その一つとして、幼

稚園や保育園、サッカー少年団を、現役OB選手やアカデミースタッフが「キッズキャラバン」として訪問し、サッカーや体を動かすことの楽しさを伝えていきます。夢を持つことの大切さを選手が直接子どもたちに語ることも。令和6年度は約900人が参加しました。また「いじめ防止サポーター」として、ホームゲームでの啓発マッチの開催や、街頭啓発活動を行い、7月に開催された桑名水郷花火大会では前座イベントへ参加しました。「皆さんが満足してもらえよう、どんなコンテンツがふさわしいのかしっかりと考え、これからも積極的に活動していきます」と後藤さんは話してくれました。

ヴィアティン三重とは…

桑名市に本社を持つ、総合型地域スポーツクラブ。Jリーグ昇格をめざすサッカーチームやバスケットボールチーム、バレーボールチームなどがあります。

☎87-6009(10:00~18:00、土日祝休み)
P.5,7「写真提供:ヴィアティン三重」

公式
サイト



未経験のニュースポーツに
出会える喜びがあり
幅広い年齢の人との関わりが楽しい

教えてくれたのは スポーツ推進委員
よしかず 鈴木 良和さん



活動内容

ニュースポーツ出前教室



イベントや学校など、ニュースポーツをやりたいたい人のところへ出向き、ルール説明やコート設営、審判などのお手伝いをします。出前教室の依頼があった時に、活動可能な人が対応します。

ニュースポーツ教室の開催



市内各地で開催されているニュースポーツ教室の運営を担当。体育館のカギの管理や、初めての参加者にルールを教えるなど、自分も競技を楽しみながら委員の役割も担います。

ニュースポーツ大会の開催



大会を開催(令和7年度は5回予定)しています。大会までの事前準備や当日の大会運営などは、メンバー内で役割分担します。

幅広い年代で構成される
スポーツ推進委員会

誰でも参加できる「ニュースポーツ教室」や「ニュースポーツ大会」は、スポーツ推進委員会によって開催されています。構成メンバーは現在26人。20〜70代まで、仕事や家事をやりながら参加している人ばかりです。

鈴木さんはスポーツ推進委員になって今年で8年目です。きっかけは「母と一緒に参加していたソフトバレー教室で声をかけられたこと」。鈴木さんにとって楽しく居心地のいい場所だったため、その運営を担うスポーツ推進委員も「体を動かすことは好きだし、やってもよいかな」と軽い気持ちで始めました。

「楽しむ」ことが重視
されるニュースポーツ

スポーツ推進委員が普及に努めるニュースポーツは、子どもから年配の人まで「だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツ。ソフトバレーをはじめ、キンボール、タスポニー、ファミリーバドミントン、バウンドテニス、ボッチャ…とさまざまな競技がありますが、競技スポーツに比べてルールが簡単で、年齢や体力差に関係なく楽しめるという特徴があります。市内各地で開催されているニュースポーツ教室やニュースポーツ大会で、気軽に体験してみてください。

スポーツの楽しさを伝える
喜びがある委員の活動

3月に行われた「ニュースポーツフェスティバル」では、初登場のモルックをはじめ、ストラクトアウト、ペタンク、グラウンドゴルフなど6競技を開催。スポーツ推進委員は事前準備も必要ですが、できる人ができることをするというスタンスなので、無理をする必要はありません。鈴木さんは「やってみたいとおもしろさに気づく。教室やイベントでおもしろいと言ってもらえると自分もうれしい。幅広い年代の人と関わり合えることもよい経験になっています」と、スポーツ推進委員のやりがいについて話してくれました。

スポーツ推進委員会に興味がある人は ☎ スポーツ振興課 ☎24-1251 ✉ sportm@city.kuwana.lg.jp